

植物多様性センターの「イズノシマウメバチソウ」

ウメバチソウの仲間は、DNAを基にした新しい分類体系では、ユキノシタ科からニシキギ科に移動しました。小型の草本のウメバチソウがほとんどが木本のニシキギ科の仲間とはにわかには信じられませんが、じつは花の構造を観察するとハハ〜ンと頷けるところがあります。ウメバチソウの子房は五角形ですが、柱頭は4つに分かれて4室です。確かに4数性と5数性、両方の花をつけるニシキギ科らしいですね。



ウメバチソウの名は、加賀前田藩の梅鉢紋に由来する



柱頭以外のガク、花びら、仮雄しべ、雄しべは5個ずつの5数性



花が枯れて、ふくらみ始めた子房：五角形なのに4室に分かれる



ニシキギ科モクレイシの雄花：5弁の花びらに4本の雄しべ